

## アジアでの福音

2009年3月30日 アシェル・イントレーター

今週(3/21-28)、私は韓国で活動します。私たちはイスラエル信者をアジア全土に送り出し、福音を伝える支援を行う事に確信を持っています(イザヤ 2:3、66:19)。私たちのチームの一員であるユヴァル・ヤナイとアリエル・ブルーメンソールは、戦略的な伝道を行うためにその地の友人たちと共に働いています。(アリエルは流暢な日本語、日常会話レベルの中国語を話し、アジア諸国で長期に滞在しています。私の知る限りにおいて、メシアニック・ジューの中でも彼ほどアジア文化に対して正しく認識している者はいません。)

イエシュア(イエス)は私たちにエルサレム、ユダヤそしてサマリヤから地の果てまで(使徒 1:8)主の証人となるように大いなる命令を与えられました。エルサレムから始まって、地の果てはもちろん東アジアに関連します。シャウル(パウロ)は異邦人の諸国に福音を伝えようと出発し、最初彼はシリアとトルコに向かいました。彼は東に向いてアジアに行くことを望みましたが、聖霊はヨーロッパに行くよう彼に戦略的な指示を与えました(使徒 16:6)。

福音は主に何世紀も間、西に向かって進んで行きました。1960年代に大きな突破口が韓国で生じ、地上で最も「キリスト教」である国家の一つとなりました。1980年代の後半から始まって、中国の地下教会が成長し始め、現在中国には1億人を超える「生まれ変わった」信者がいると報告されています。地球上の人類の大半はアジアに集中して暮らしています。

1990年代に、多くの中国人信者は「エルサレムへの帰還」または「シルクロード」と知られている、彼らが福音をアジア全土に続いてイスラム諸国を通してイスラエルへ戻るというビジョンを受け取りました。福音がこの世界的な輪を完成させると、イエシュアの再臨の準備が整うであろうという基本的な理解がありました。しかし、イスラエル自身のリバイバルと回復に対する神の目的についてはあまり啓示がありませんでした。

イスラエルの回復とイエシュアの再臨には直接的な関係があります。「イスラエルの召命」と知られているこれは本質的に終わりの時のメッセージにつながっているのです。

現代のメシアニック運動が1970年代に始まった時、その第一の理由は**宣教**でした。私たちの民が救いを受け取るために、私たちはユダヤ人のままであることを望みました。(1コリント 9:29)。より多くのユダヤ人が実際に主を知り始めると、私たちの動機はより**牧会的**なものへと成長しました。他の共同体がそうでありたいと思うように、私たちは自分の文化や世界観の中で自分たちの信仰を表現したいと望んでいるユダヤ人です。(それは、異邦人信者がユダヤ人にならないでイエスを信じることを良しとした**使徒 15章**での会議の裏返しのようなものです。)

私たちの聖書の理解が深まると共に、教えに関する課題があることも発見しました。新しい契約（訳注：新約聖書）の大半が律法や預言者（訳注：旧約聖書）に対して一貫した解釈がなされていなかったのです。律法に反すること、イスラエルと教会を置き換えること、契約的でないもの、そして千年王国に反する神学を正すことは、文化的な嗜好という問題ではなく、根本的な聖書の真実（**マタイ 5:17-19**）に関わることです。

主の再臨に日々近づくにつれ、メシアニックとイスラエルのメッセージはより**預言的**の重要性を増しています。世界中のクリスチャンはユダヤ人のために祈るか（**ローマ 9:1**）、ユダヤ人のために福音宣教の重荷を持つか（**ローマ 1:16**）、または、ユダヤ人と民として同一視するか（**ルツ 1:16**）という選択肢が与えられているでしょう。しかし、主の再臨に備えることはすべての信者にとって必須なものです。

オリブ山からイエシュアは天に上げられ、同様にして主は戻られる（**使徒 1:11**）。

終わりの時、イスラエルは諸国から総攻撃を受ける（**エゼキエル 38-39 章**）。

イエシュアはイスラエルを攻撃するすべての国家に立ち向かわれる（**ゼカリヤ 14:1-15**）。

イスラエルのリバイバルは主の再臨の前提条件（**マタイ 23:39**）。

イスラエルの回復は死者の復活の前提条件（**ローマ 11:15**）。

イエシュアはエルサレムから千年王国を支配される（**イザヤ 2 章、ミカ 4 章**）。

「注：主の再臨の前、**使徒的**宣教とイスラエルのメシアニック共同体からキリストの体全体に対する權威（**使徒 1:25; 2:42; 8:14; 15:2; 15:22; 16:4**）が回復すると私は信じていますが、それはまた別の学びとなります。」

## イスラエルの回復は預言の成就か

私たちはよく現代のイスラエル国家は預言の成就かと質問されます。私の答えは「半分」です。

ヘブライ人預言者全員を通してイスラエル国家の回復が約束されています。しかし、この回復は基本的な二つの段階を経ます。まず物理的な回復で、次に霊的な回復です。

**エゼキエル 36:24**—わたしはあなたがたを諸国の民の間から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。

過去 100 年間のイスラエルへのユダヤ人再集結はこの御言葉の成就の過程を指しています。しかし、これは回復の一部分に過ぎません。

**エゼキエル 36:26-27**—あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。  
(中略)わたしの霊をあなたがたのうちに授け(後略)

靈的なリバイバルは預言の後半です。これはやっと始まったばかりです。現代のイスラエル国家には多くの問題があります。これらの問題を見てこれが預言の成就なのかと疑問に思う者もいます。他の者はイスラエルを美化し靈的な刷新が必要であることを認めようとしないのです。私たちが約束された回復、一つはほぼ成就しもう一方はほとんど成就していないという両側面を見る時、私たちは現代イスラエルと聖書の預言に関するバランスの取れた見識を持つことができます。

**イスラエルにリバイバルをもたらすために労し、世界中に福音を述べ伝えるために私たちと提携して下さり感謝します。**